

平成 27 年度みやざき就農相談会を開催しました

県内で農業を始めたい・農業法人等に勤めたい方を対象とした「みやざき就農相談会」を 11 月 29 日(日)に JA・アズムホール本館大研修室で開催しました。(当公社・県農業会議・JA 宮崎中央会主催)

当日は 56 名の来場があり、うち 6 名は埼玉県や奈良県など県外からも参加されました。

相談会では、まだ何を聞いていいかわからない、まずは情報収集をして今後を検討していきたいといった方のための[就農・就職総合相談]コーナーや、各市町村の研修や支援対策、農地、機械、ハウス等の説明を聞くことができる[研修・就農支援制度相談]、[農地・ハウス・機械相談]、[先進農家相談]コーナーを設けました。

また、就職については 8 戸の農業法人等の代表者や人事担当者、ハローワークの農林漁業就職支援担当者に、会社概要・求人内容説明や個別相談等の対応をしていただいたほか、今回参加のなかった農業法人の求人紹介も就職相談ブースにて行いました。

相談の内容には、現在は非農家だが農地を少し持っており、今後それを活かしてなにかできないかといったものも数件ありました。

来場者の就農につながるよう、今後も継続して体験研修の案内や職業紹介等を行ってまいります。

【担い手支援課】



就農相談コーナー



会場の様子



農業法人就職相談コーナー

6 次産業化プランナーのご紹介

公社では、6 次産業化にチャレンジする農林漁業者や農業法人の皆様に対し、計画の策定や新商品の開発及び販路開拓等の支援を行うため、これまで民間の専門家から 16 名のみやざき 6 次産業化プランナーを登録し、相談に対応してきたところです。



安達雄樹氏



日高亜矢氏

この度、事業者の大きな課題となっているマーケティングや販路開拓、商品デザイン等の相談対応を強化するため、新たに販売・デザインの専門家である 2 名のプランナーを配置しました。

お二人は、いずれもこれまで食に関する商品開発や販路開拓、デザイン、マーケティング等に携わってこられており、豊富な知識や経験を武器に 6 次産業化に向けた相談業務に大きく貢献していただけるものと考えております。

商品開発や販路開拓等のアドバイスを受けたい方は、ぜひ公社までご相談ください。

【新農業支援課】

農地中間管理事業について

◎平成27年度農地等借受希望者の応募状況

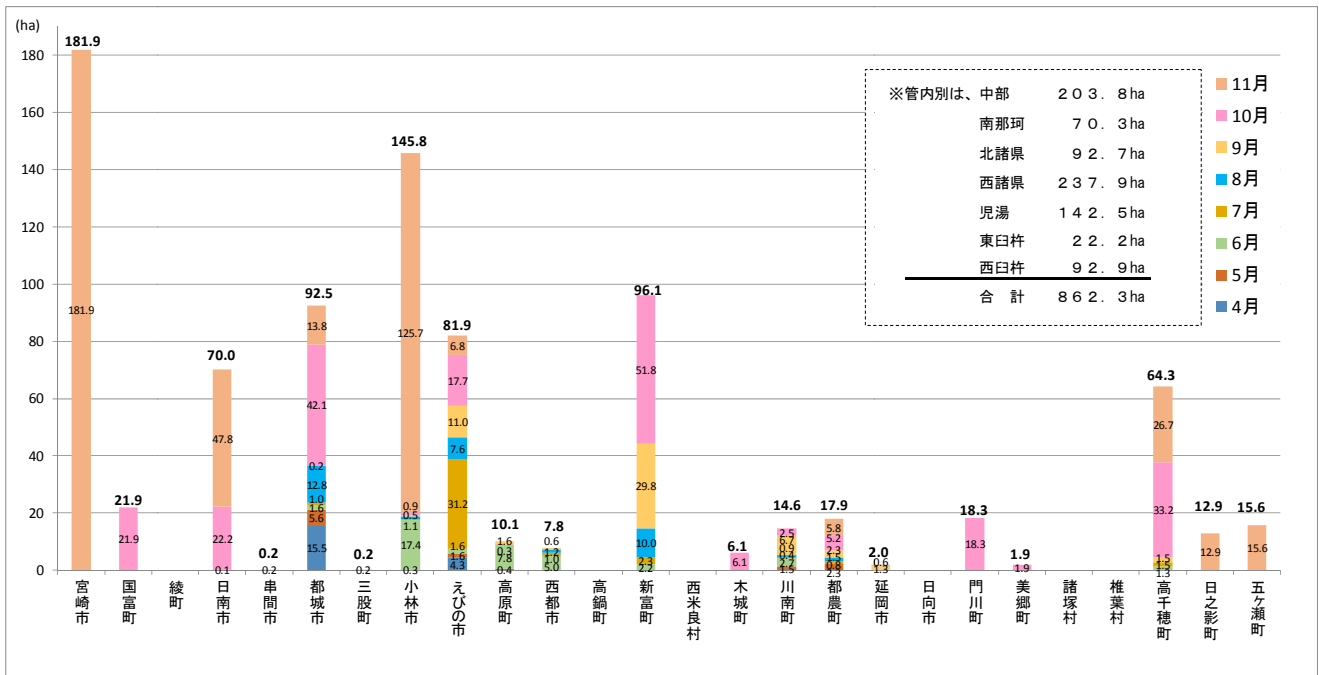
本年度の借受希望者は、5月及び7～10月の5ヵ月間で、21市町において合計1,083件、1,292ヘクタールの申し込みがありました。

引き続き募集していますので、詳しくは農地中間管理機構ホームページをご覧ください。

◎農地中間管理事業市町村別実績（4～11月）

機構では毎月21日前後に、農地中間管理権取得及び農用地利用配分計画に関する審査会を行っており、本年度11月までの市町村別実績をとりまとめました。これまでに20市町で合計862.3ヘクタールの農地が審査され、借受・貸付が決定されています。

平成27年度農地中間管理事業市町村別実績（4月～11月） ※機構審査会ベース



◎農地中間管理事業のPRを実施

県民に広く農地中間管理事業制度に関する周知・理解促進を図り、農地の出し手を増やして農地中間管理機構を介した農地の貸借を加速化させるため、テレビや新聞など各種メディアを活用した広報活動を展開しました。

具体的には、県内の2つの民放テレビでの1ヵ月にわたるスポットCMの放映、民放ラジオでのCM放送、地方新聞2紙での公告掲載、パブリシティとしてテレビ・ラジオの情報番組やニュース番組でのPR等を実施しています。また、パンフレットやポスターを作成し、市町村等関係機関に配布して事業推進に活用していただいています。CMを見たという方や、パンフレットを手にした方から問い合わせが寄せられるなど、PR効果は上々です。【農地第一課】

↓新聞広告

広報ポスター →



平成 27 年度みやざき 6 次産業化チャレンジ塾が閉講

6次産業化を目指す人材育成を目的とした「みやざき6次産業化チャレンジ塾」の閉講式を11月6日に宮崎市の「ニューウェルシティ宮崎」で開催しました。

当チャレンジ塾は、農林漁業者を対象とした「6次化チャレンジャーコース」、行政、農業団体、食品関連企業等支援者を対象とした「6次化プロデューサーコース」で、8月4日から3か月にわたり、毎週1回6次産業化に関する様々な講義や演習、現地事例等の講座を実施してきました。

また、本年度の講座は、食の6次産業化を担う人材育成、キャリアアップを支援する「食の6次産業化プロデューサー」の育成プログラム（レベル3）にも認定されており、農や食ビジネスに携わる人材育成にも寄与できる講座となっています。



閉講に先立って実施したビジネスプラン発表会では、塾生のうち23名がチャレンジ塾を通じて取り組んできた経営理念やこれからの夢の実現に向けたビジネスプランを発表しました。

引き続き行われた閉講式では、公社の宮脇理事より各コースの代表者に修了証が授与され、「6次化チャレンジャーコース」18名、「6次化プロデューサーコース」27名の計45名が修了を迎えました。このチャレンジ塾の講座を通じて、フェイスブック等による受講生同士の交流活動も行われており、「非常に有意義な塾であった。」との感想を多数いただいております。

平成 24 年度から実施している当チャレンジ塾は、これまで4回開催してきましたが、今回を含め 195 名（うち農林漁業者 99 名）が修了し、そのうち 36 件が総合化事業計画の認定を受けています。この塾で学んだ知識やスキルを活かした6次産業化の取組が県内各地でなされており、これからさらなる事業の展開が期待されます。

【新農業支援課】

六次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画を新たに 4 件認定

六次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画の認定については、これまで年3回実施されてきましたが、本年8月より毎月認定されることとなりました。

これを受け、9月2件、10月1件、11月1件の計4件が国（農林水産大臣）の認定を受けました。

これらの認定により、本県の総合化事業計画の認定は平成23年度からの累計で82件となり、全国4位、九州1位の認定件数となっています。

認定を受けられた事業者の皆様の計画実現に向けて、引き続きフォローアップしてまいります。

【新農業支援課】

	事業者	事業名	市町村	認定月
1	(有)ビッグファーム	自社牧場の黒毛和牛を使用した牛肉の加工・販売事業	都農町	H27.9
2	橋口昭太郎	イチゴの観光農園開設と、イチゴの新商品開発・製造・販売	日向市	H27.9
3	(有)ミヤザキインダストリー	自社ブランド豚「参協味豚」を利用したレストラン事業及び加工品の直接販売事業	川南町	H27.10
4	倉元陽造	貯蔵技術を活用した日向夏のインターネット販売と日向夏加工品の販売事業	日南市	H27.11

これからの行事予定

日時	行事	会場	問合せ
1月23日(土)	新・農業人フェア 大阪会場	大阪マーチャндаイズ・マート	担い手支援課
1月23日(土)	みやざきひなた暮らし就農相談フェア	東京都 銀座ファーマーズラボ	担い手支援課
2月13日(土)	新・農業人フェア 東京会場	池袋サンシャインシティ	担い手支援課
2月中旬	みやざきひなた暮らし就農相談フェア	東京都 パソナグループアバンfarm	担い手支援課
2月26日(金)	第3回農商工ビジネス商談会	ニューウェルシティ宮崎	新農業支援課
3月17・18日(木・金)	みやざき農商工連携販路開拓求評会	宮崎観光ホテル	新農業支援課

第18回全国農業担い手サミット in みやざき

11月10日に本県で初めて開催された全国農業担い手サミットにおいて、会場内の交流ブースで当社の取り組みを県内外の来場者にPRしました。

農地中間管理機構ブースでは、ポスターや事業内容の説明図、卓上のぼり、DVD映像などを利用して農地中間管理事業をPRするとともに、参加者にパンフレットを配布して事業活用を呼びかけました。ブース来訪者からは、「事業効果はどうか」とか、「どこで実施しているか」などの質問が寄せられ、農地の確保や集積・集約への課題に対する関心の高さがうかがわれました。

担い手支援ブースでは、新規就農事例やみやざき農業実践塾のパネルを設置し、宮崎県内における新規就農者の状況や当社の支援活動などについてご紹介しました。県外新規就農相談センターのご担当者や農家の方等から、新規就農者数や、研修受入体制についてのご質問をお受けし、情報交換もしていただきました。

6次産業化ブースでは、本県の6次産業化の総合窓口となる「みやざき6次産業化サポートセンター」を設置していることから、サポートセンターの取組内容に加え、県内各地で6次産業化を実践している優良事例についてパネル展示を行うとともに、パンフレット・チラシを配布しPRを行いました。また、会場内別室では、6次産業化等に取り組む事業者やみやざき6次産業化チャレンジ塾の修了生を中心に18社が出展し、農産加工品等の試食により県内外の来場者にPRを行い、非常に好評でした。



農地中間管理機構ブース



大会看板



6次産業化ブース



担い手支援ブース

豊かな農業経営・新しい未来のために

発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社
 〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14
 電話 0985(51)2011 FAX0985(51)8006